



公益財団法人 岡田文化財団助成事業

～観阿弥創座の地 名張～
名張子ども狂言の会 創立30周年記念事業

日時 7月10日(土) 午後1時30分～

場所 adsホール(松崎町)

岡田文化生涯学習室 ☎ 63-7892

演目

- ◆名張子ども狂言の会による「蟹山伏」
- ◆名張子ども狂言の会 先輩たちによる「鬼瓦」
- ◆茂山七五三さん・茂山宗彦さん他による「水掛掬」



限定300人【入場整理券が必要です】

【入場整理券 配布開始日】 5月18日(火)～ 午前8時30分～午後5時15分

※先着300枚(配布は1人2枚まで。定員になり次第配布を終了)

【配布場所】 ▶市役所3階文化生涯学習室(平日のみ) ▶adsホール(月曜日休館)

主催 名張市観阿弥顕彰会・名張子ども狂言の会 共催 名張市・名張市教育委員会・adsホール

名張能楽祭をより楽しむための 茂山先生による事前学習会

茂山宗彦さんに、狂言のお話と名張能楽祭の演目について解説いただきます。令和元年10月に開催した「名張新能」での演目狂言「千鳥(ちどり)ノ上写真」の映像鑑賞もあります。《令和3年度生涯学習講座》

日時 6月13日(日) 午後1時30分～3時 場所 防災センター(鴻之台1)

定員 80人 ※先着順

申込 5月18日(火)～5月31日(木)に、電話、電子メール(syougaigaku@city.nabari.mie.jp)などで、住所・氏名・電話番号を文化生涯学習室へお伝えください。

名張能楽祭
～狂言を楽しむ～

30年間の活動が結実した公演に

能楽は世界に誇るべき文化。この伝統文化が「創座の地」に息づき、残していくためにも、子どもの頃から狂言に親しめる環境を整え、ふるさとを誇りに感じてほしいという思いがありました。

観阿弥創座の地というご縁もあり、小波田の子どもたちへの指導を始めていたのが、大蔵流狂言師の茂山七五三先生でした。本物の伝統芸能に触れる貴重な機会となり、現在、稽古に来ている子どもたちの半数以上は、親も参加してきた世代。子どもの頃の貴重な経験が、きっと心に響いていたのではないのでしょうか。

名張能楽祭は、まさに、30年間の子ども狂言の会の活動が結実した公演になると思います。ぜひ、お楽しみください。

名張市観阿弥顕彰会・名張子ども狂言の会 顧問

森本 孝子さん



魅力の掘り起こしや情報発信に取り組む
「地域おこし協力隊」が着任



4月1日付で、名張市に移住した4人が「地域おこし協力隊」として着任。(左から)高山智子さん、長谷川未紗さん、三浦広宣さん、長谷川幸太郎さん

地域おこし協力隊による
情報発信スタート!



都市からの移住者が最長3年間、地方自治体(市町村)から任命され、地域活性化に取り組みながら生活する「地域おこし協力隊」。名張市でも4月1日、4人の協力隊が着任しました。

着任したのは、長谷川幸太郎さん(活動内容:名張地区の活性化や情報発信)、長谷川未紗さん(活動内容:薦原地区の情報発信)、三浦広宣さん(活動内容:赤目地区の新たな価値の創出)、高山智子さん(活動内容:シティプロモーション)。三浦さんは桑名市から、他の3人は東京から移住してきました。

夫婦での着任となったのは、長谷川幸太郎さんと未紗さん。「店舗運営、イベント企画などの経験を生かしたい」と幸太郎さん。未紗さんは「学校と地域の架け橋になりたい」と話します。また、「地域のいろんな人と関わりながら、子どもや親の居場所づくりを」と三浦さん。そして、名張市の「シティプロモーション」に携わる高山さんは、「地元の人と出会い、歴史や文化を学びながら、名張市の素敵なおとこ、美しさを国内外へ発信していきたい」と、意気込みます。

地域おこし協力隊は、これまでの経験を生かして地域に溶け込んで活動していきますので、皆さんのお力添えをよろしくお願いいたします。

岡田地域活力創生室 ☎ 63-7782

ふるさと納税の返礼品に
皆さんのアイデアを!

岡田総合企画政策室 ☎ 63-7389

生まれ故郷や応援したい自治体に寄附ができる制度「ふるさと納税」。地域の名産品などのお礼の品も魅力です。名張市の返礼品充実に向け、皆さんからのアイデアを募集します。詳しくは、市HPで

市民の皆さん
による提案⇒

あなたイチオシの名張の
商品やサービスは?

事業者から
の提案⇒

返礼品として提案したい
商品やサービスは?